

2019年度瀬戸市サッカー協会小学生大会の留意点 rev.1

瀬戸市サッカー協会の4種事業である「小学生大会（通称：小学生夏大会・小学生冬大会）」を安全でより良い大会にするための留意点を以下にまとめました。

参加するチームの関係者（特にベンチに入る指導者）は、必ず大会要項と合わせてこの留意事項を確認してください。

1. オーバーエイジについて

怪我を未然に防ぐためにオーバーエイジの定義を明確にする。

(1) オーバーエイジの定義

- ① 瀬戸旭トレセン選考会にチームより推薦された選手はオーバーエイジとして認めない。
- ② サッカーに対する、意識・技術が一定水準に達した選手、或いはそれ以上の選手で選考会などに推薦されるレベルと協会役員が判断した選手はオーバーエイジとして認めない。
- ③ 女子選手はオーバーエイジとしない。（年齢制限をしない）

(2) 理由

瀬戸市サッカー協会の主旨はサッカー人口を増やして全員が楽しめるサッカー環境造りと考えており、低学年までの裾野を広げるためにカテゴリー分けを行っている。

しかし、年齢が跨ぐ事により技術や体力の違いにより怪我の起こるシーンも増えると考えている。

(3) 違反した場合

規律委員会にてヒアリング及び指導を行う。状況によりチーム失格とする。

2. 熱中症対策について

日本サッカー協会制定の「熱中症対策ガイドライン;2016.3.10」に伴い、熱中症対策についての取り組み方針を以下に定める（瀬戸市サッカー協会ローカル規定）。

(1) 対象

- 1) 6月～10月に於ける瀬戸市サッカー協会主催の大会（予選決勝に限らない）。
- 2) 試合開始時および試合中にWBGT（湿球黒球温度）が25℃以上または気温が28℃以上となった場合。
- 3) 試合会場責任者および主審の判断による。

(2) 内容

- 1) ベンチにテント等を設置し、日射を遮る（テントは各チーム持ち寄り）。
- 2) ベンチ内で水だけでなくスポーツドリンクが飲める環境を整える。
- 3) 『ハーフタイム』は5分～10分程度とする。
- 4) 『飲水タイム』を設けベンチの日陰で飲水および身体を休める（飲水タイムは2～3分を目安にする）。
- 5) 『飲水タイム』中は、飲水を優先し氷やアイスパック等でカラダ(頸部・脇下・鼠径部)を冷やすことを可能とする。但し、戦術的な指示は行わない。また、選手交代を行うことは出来ない。
- 6) 『飲水タイム』はアディショナルタイムとする。
- 7) 試合途中にWBGT（湿球黒球温度）が31℃・気温35℃以上となった場合、ハーフ終了時に「中止」とする。前半で「中止」となった場合は前半の結果を、同点の場合は「抽選」により勝敗を決定する。ただし、「抽選」の結果はPKと同じ扱いとする。
- 8) 1日の試合数を「2試合」までとする。

(3) 補足

熱中症で脱水症状となった場合、水分だけが不足する場合と、水分と塩分が不足する場合があります。経口補水液（水に塩とブドウ糖を加えた飲み物）など補給しましょう。スポーツドリンクにも、経口補水液と同じような成分が入っていますが、飲みやすくするために糖分が多く含まれているので注意が必要です。水分を吸収するのに適した糖分は、「2.5%以下」といわれていますので、水で薄める等の工夫が必要です。

また、決勝大会等が行われる瀬戸市民公園陸上競技場のフィールド内での飲水は『芝生保護』のため基本的に「水のみ」です。

しかし、特に夏季(7月～9月)は芝生の照り返しなどにより非常に暑く『熱中症』となるリスクが高くなるため、『熱中症対策』として「スポーツドリンク」や「経口補水液」を飲水することを認めます。

ただし、ベンチサイトに設置したザラ板の上にて飲水し、『熱中症防止』と『芝生保護』にご協力願います。

3. ユニフォームについて

ユニフォームを下記のとおり整えて試合に参加ください。

- ユニフォームを着用すること。
- ユニフォームはシャツ/パンツ/ソックスを2色用意すること。対戦相手と同色及び同系色の場合は事前に当事者間で調整を行うこと（本部より変更のお願いする場合があります）。
- ゴールキーパーとフィールドプレーヤーが途中交替する場合はゴールキーパーユニフォームの着回しを可とする。但し、補助審へその項を報告すること。警告及び退場になった場合は登録したユニフォームを提示すること。
- アンダーウェアの袖が見える場合はユニフォームの袖と同色とする。
- アンダーショーツが裾から見える場合は黒色及びパンツの裾と同色とする。但し、チームで統一すること（着用可否は問わない）。

4. 大会運営・注意事項について

安全にまたトラブルなく大会を終えるため以下のように大会を運営する。

(1) 予選大会の運営・注意事項（会場：各小学校等）

1) 予選日程調整

- 幹事チームのもと予選を行う。
- 雨天の場合は運営本部（会場提供チーム）にて開催可否を判断願います。

2) 会場駐車場と設営

- 会場の駐車制限を必ず守ってください。路上駐車や付近店舗等に駐車すると近隣の迷惑となり会場提供チームの活動に支障をきたす恐れがあります。会場提供チームの駐車台数制限などを必ず守ってください。
- 準備・片付けは、必要であれば会場提供チーム以外のチームも手伝う。
- 「補助審」の席を設置する。
- 「テクニカルエリア」を設け、「ベンチ」は「テクニカルエリア」内に設置する。
- 「ベンチ」と「観戦席」はできるだけ離し明確に区別する。
（例:「ベンチ」横に「観戦席」=NG）
- 「本部」を設置する。なお、本部は保護者の方でも構わない。ただし、選手チェックや急な天候変化による対応と判断ができる者が対応する。また、「本部」からの応援は控えること。

3) 「本部」の役割

○ 選手チェックの実施と審判員の受付

- ・ 各チームより提示された「エントリー表」にて名前とユニフォーム番号を確認する。
- ・ 爪の確認
- ・ 用具の確認（「すね当て」「靴」「メガネ」のチェック）

★靴のチェック

殆どの選手はスパイクを履いているが特にスパイクでなくても構わない。

靴のチェックは、靴紐が切れていないか、靴が破れていないか、靴裏先部分の固定用の釘が飛び出していないかチェックし、危険であれば交換してもらう。

★メガネのチェック

普通のメガネでは出場できない。「スポーツメガネ（コーグル）」の着用は認められる。

☆その他

ゴールキーパーの「帽子」の着用は認められています。

- ・ 審判員（主審・補助審）に「大会結果報告書」の担当する試合欄に氏名・資格級・審判番号を記載いただき、審判証の確認を行う。

○ 審判員のサポート

- ・ 「雷」など急な天候変動による試合中止についての判断を主審（補助審）と事前に協議する。
- ・ 「WBG T（湿球黒球温度）計」や「温度計」による温度上昇状況を確認し、『飲水タイム』の設定や『試合中止』について主審（補助審）と都度協議する。

○試合結果の記録と報告

- ・試合終了後、主審に「大会結果報告書」へ試合結果ならびに警告・退場の記載をしてもらう。
- ・当日全ての試合が終了したら、本部から幹事チームの責任者に「エントリー表」と「大会結果報告書」を引き渡す。
- ・幹事チーム責任者は、提出期日までに「大会結果報告書」を提出先へメールにて送付する。
- ★幹事チーム責任者は、予選結果が出ない場合、提出期日までに「抽選」にて決定し、途中までの「大会結果報告書」を提出先にメールにて送付すること。

(2) 決勝大会の運営・注意事項（会場：瀬戸市陸上競技場）

1) フィールドの準備・片付け

- 各日程の1・2試合目の各チームにて本部の指示に従いフィールドの準備を行う。
- 各日程の最終試合を行った各チームにて本部の指示に従いフィールドの片付けを行う。

2) 試合時間について

- 台風や雪などの影響で当日試合が中止となる恐れがあります。その際、協会より対応を周知いたします。
- 試合時間は目安です。雷など急な天候の変動により試合が一時中断となり遅延する場合があります。その際、本部より試合の再開時間等を周知いたします。

3) トラック内（芝生）について

- トラック内の南北練習スペースにてアップすることを可能とする。また、試合間及びハーフタイム中はフィールド内で練習を可能とする（ボール使用可）。ただし、本部前でのアップやボールを蹴ることを禁止する。
- トラック内（芝生）に入場できるのは登録選手とベンチに入る指導者および帯同審判に限る。また、スポーツシューズ以外での入場は認めない。

4) 応援観客席について

- 応援観客席はメインスタンドおよび外周の土手とし、フィールド内、トラック、外周の芝生への立入を禁止する。また、本部前での観戦も禁止します。

5) 駐車場について

- 競技場スタンド奥の駐車場は、本部運営協会関係者の駐車場のため入場を規制します（バリケードより奥は進入禁止）。
- 競技場スタンド裏も事故防止のため駐車禁止とします。

5) その他

- 車事故防止のため、競技場スタンド裏のアップスペースでのボールの使用は禁止します。
- 一般利用エリアのため、体育館前の芝生広場でのアップは禁止します。
- 瀬戸市民公園は、体育館前の喫煙スペースを除き全域で禁煙です。

(3) 予選・決勝大会の共通運営・注意事項

- 選手も指導者も保護者も大会要項を理解してリスペクト精神にて敬意を持って参加すること。
- 大会中における事故・傷害・怪我の処置は各チームで行うこと。

5. 試合観戦のマナーについて

より良い大会とするため、保護者の方の以下の行為は禁止・自粛くださるようお願いいたします。

- ① サイドコーチング
- ② 暴言、ネガティブ声援
- ③ 拍手・声援以外の楽器・メガホンを使用する
- ④ 審判のジャッジへの抗議または異議に類する声援

選手が自分で考え判断し行動できるよう日頃からコーチが指導しています。観戦される保護者の方は、そんな選手達を見守ってあげてください。相手チームの選手・指導者・サポーターそして審判も、試合をする上では大切な仲間です。子どもたちのお手本になるような、素敵な応援をお願いします。

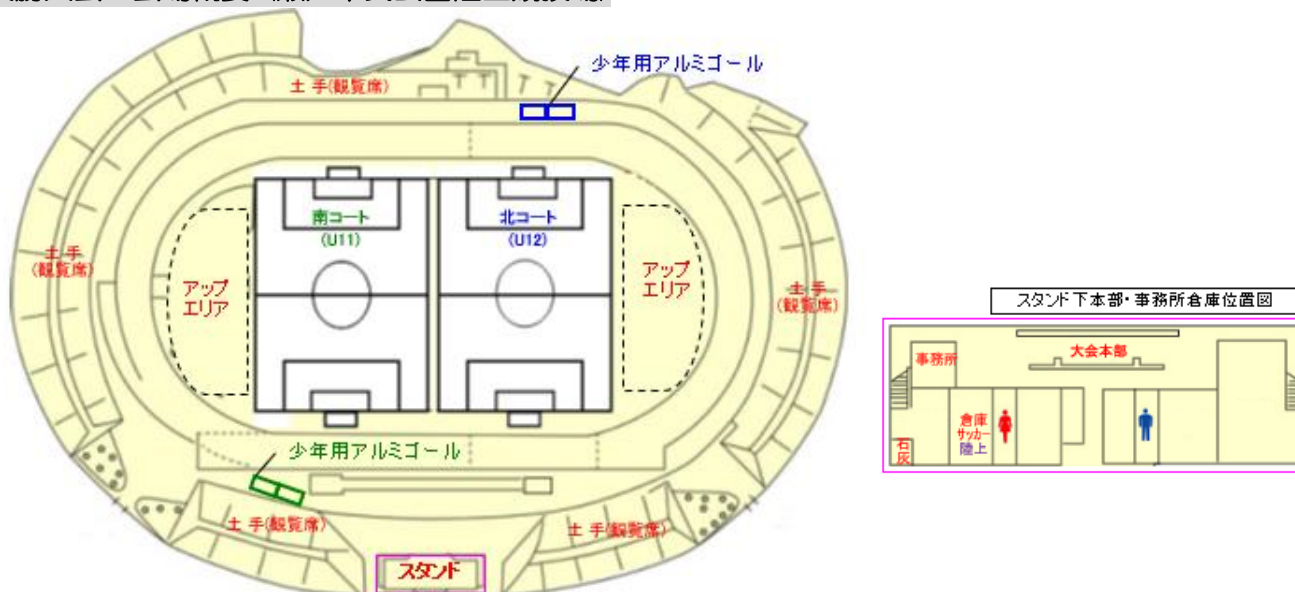
熱中症対策資料

運動に関する指針

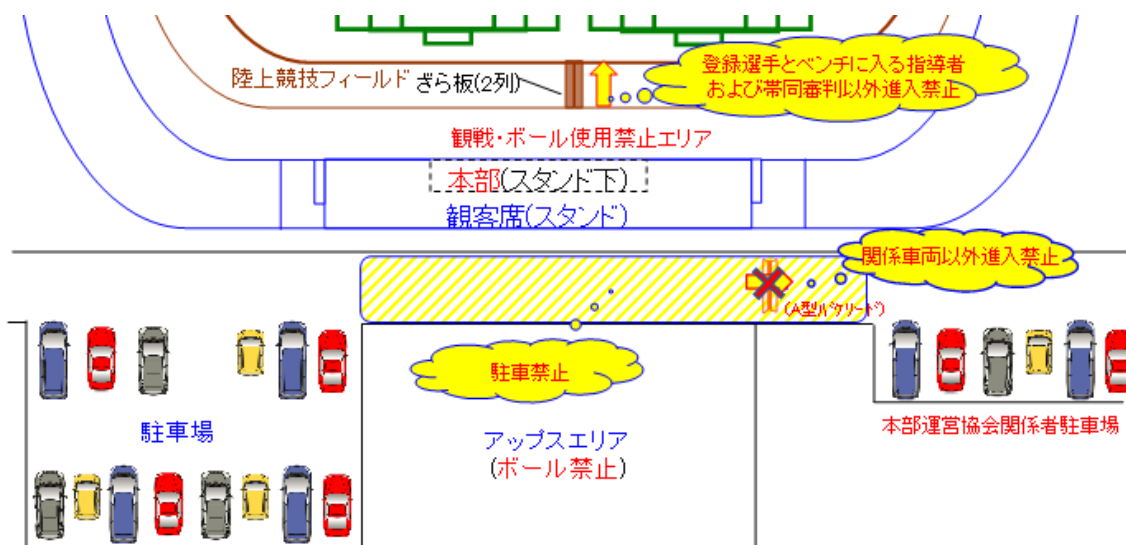
気温 (参考)	暑さ指数 (WBGT)	熱中症予防運動指針	
35℃以上	31℃以上	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。 特に子どもの場合には中止すべき。
31～35℃	28～31℃	厳重警戒 (激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いため、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。 10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。 暑さに弱い人※は運動を軽減または中止。
28～31℃	25～28℃	警戒 (積極的に休憩)	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。 激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
24～28℃	21～25℃	注意 (積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。 熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24℃未満	21℃未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。 市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

※暑さに弱い人：体力の低い人、肥満の人や暑さに慣れていない人など
(公財) 日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」(2019)より

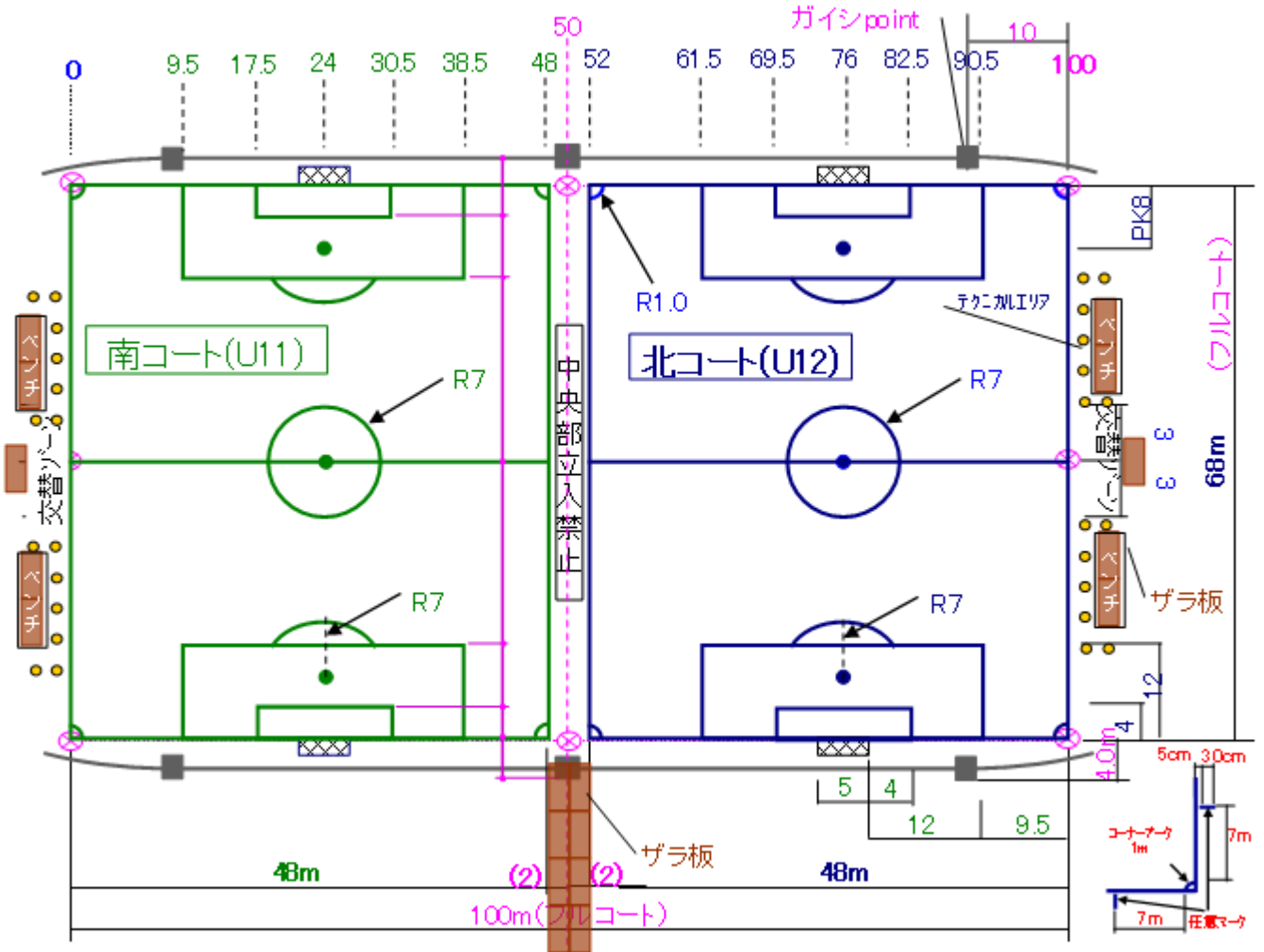
決勝大会 会場概要 (瀬戸市民公園陸上競技場)



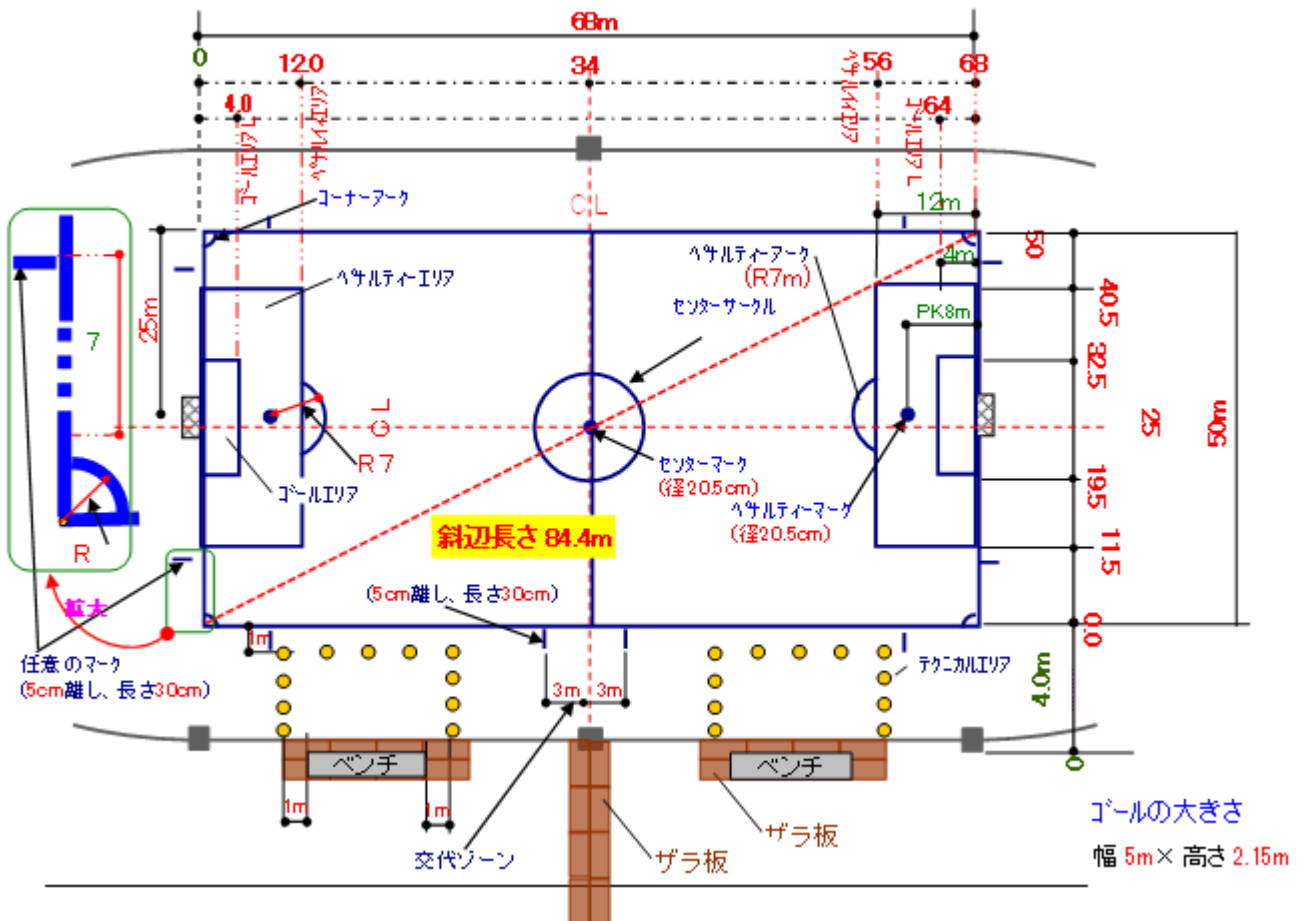
スタンド裏・奥駐車場



瀬戸市民公園陸上競技場 8人制サッカーコートサイズ(68m×48m×2面)



瀬戸市民陸上競技場 8人制小学生サッカーコートサイズ(68m×50m)



保護者のみなさまへ
めざせ！
ベストサポーター

みなさんは、子どものために一生懸命、応援したり尽くしたりしています。子どものためを思う、子どもによかれと思う、強い気持ち、大きなエネルギー。それが子どものためにより良いものとなるように、ちよっと振り返ってみましょう。



Nav1.3
みんな大切な
サッカーの仲間です

クラブの考えを聞いてみて
信頼関係があれば解決できることがたくさんあります。
みんな大切な仲間
サッカーに「敵」はいません。



サッカーを知っているお父さんへ
余裕をもってやさしい気持ちで見守ってください。
レフェリーの判定を尊重しましょう
子どものときにこそフェアプレーを伝えたい。

フェアプレーにはグリーンカード
JFAではU-12以下の試合でグリーンカードの使用を推奨しています。

Nav1.3
スポーツ・サッカー
大好きっ子を育てよう

子ども自身の夢
あなたの夢ではありません。
ゆっくり見守りましょう
子ども達はサッカーが楽しく大好きです。
サッカーと学校や生活のバランス
さまざまな仲間とのさまざまな経験が幅を広げます。
トライ&エラー
勝ち負け以外に大切なことがあります。



Nav1.1
サッカーは子どもを大人にし、
大人を紳士にする
自立の第一歩
子どもなりに、自分で必要だと思ふことを自分でやるのが大事。
クラブへ協力
子どものサポートであることを忘れずに。



Nav1.4
いつでもどこでも
常に子どもをサポート

根本的な部分へのアプローチ
サッカーの練習だけでは変わらないこと。
論理的に考える力を引き出す
言葉を使って考える機会を与えましょう。
栄養・食習慣
しっかりとした食習慣を身につけさせるには、家庭の協力が不可欠！
子どもの成長
子どもの成長に合わせたサッカーの大切さを理解してください。



子どもが主役めざせ、ベストサポーター！

子どものために
良かれと思うその気持ちが
最善な方向になるために。
めざせ！
ベストサポーター



めざせベストサポーター！ 選考の
ご依頼は、財団法人 日本サッカー
協会 事務局 03-3833-1811まで。
（受付は無料、選考はご本人負担）
または
http://www.jfa.or.jp/shojo/road
www.jfa.or.jp/shojo.htmlより全文無料にて
ダウンロード（PDFファイル）も可
します。